



西岡 恵子 議員

藍住町立図書館について

図書館業務の一部外部委託により約一年が経過した。この間の町職員との連携、業務実績（財政面含む）、今後の課題についてお尋ねしたい。また、他の自治体で既に取り組んでいるホームページとのリンクにより検索出来るようにしてはいかかがか。なお、開館時間延長についても利用者より要望があれば検討をお願いする。

平成十七年度・約八百万円の経費削減効果

委託前と同様のサービスを提供できていると思っている。委託内容は、カウンター業務を主とし、図書館サービスも町職員、NPO職員が連携し行っている。課題としてカウン

ター業務以外も検討していく必要があると考えている。インターネットによる図書検索サービス導入は財政上の問題もあり難しい。

学校図書について

学校図書の予算は地方財政措置がとられているが充実した予算化がなされているのか。また、その図書は朝の読書等で十分活用されているのか。

交付税算入額確保に配慮し予算を計上

新規購入とは別に、町立図書館からの団体貸出による図書の充実も図っている。小・中学校で、朝の一斉読書等を実施し、朝の読書を楽しみにしている子供が多くなる等の効果が現れている。

子ども達の安全について

新学期になるとランドセルに黄色のカバーをし、通学する風景が見受けられたが、今このカバーについて一部議論がある。適切な対応をお願する。

保護者や学校と協議をす対応

交通安全には効果を上げているが、一年生と特定できることに不安を感じるとの声もあり、検討をしていく必要がある。

藍住町介護保険事業計画について

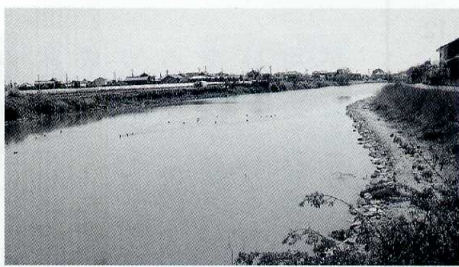
平成十八年度からは、より予防に重点をおいた大幅な見直しとなるが、新介護保険料の設定等について具体的に示していただきたい。また、新設の地域包括支援センターの役割、目的について説明を求めたい。さらに、将来を見据えた糖尿病予防を含め、生活習慣病対策も並行して行うようお願いする。

平成十八〜二十年度の介護保険料は五、四八〇円

改正で重視されている介護予防は、自宅での自立した生活を支援し、要支援・要介護状態にならない等を目的としている。また、地域包括支援センターの基本機能は、介護予防ケアマネジメント、高齢者の実態把握、相談支援、権利擁護業務等を担うものである。生活習慣病対策については、日常生活の注意点等の周知を図り、介護や医療の給付抑制に努めていきたい。

正法寺川の清流ルネッサンスIIについて

正法寺川は平成十四年、水質汚染の著しい河川として、水質改善目的で選定され、改善緊急行動計画・清流ルネッサンスIIが策定され、平成二十四年にはBOD（生物化学的酸素要求量）五mg/l以下にし、鯉や鮒が生息し、川沿いの散策を楽しむことを目指すとなっているが、現在の正法寺川の水質状態について。また、現在設置の接触酸化施設が効果を示すようなら、本村川流入口にも設置を



正法寺川

検討とありましたが県に要求するの。下水道完備を想定した正法寺川の未来像、水量の確保はできるのかお尋ねしたい。

以前と比べ水質が良くなっている

浄化施設の設置により、BODで効果が出ており、本村川流入地点にも設置を要望したいと思っている。

下水道の普及により正法寺川に流入する水量の減少という懸念があるが、みどり橋下流の堰等により川の水量が大きく減少することはないと思われる。

災害弱者に対する防災計画について

災害弱者に対しての避難支援、避難所の施設指定はできているのか。また、協力ボランティアの把握も早急が必要。何より当事者からの情報収集が大切。その取り組みについてお尋ねしたい。

現在、把握している福祉目的情報は個人情報保護法で災害に対し流用は困難と聞くが、どのように取り組まれるのか。

災害時の飲料水確保について、町内にある井戸水の把握を早急にすること。各家庭には一人当たりの必要量三リットルの三日分ポリタンク（このポリタンクは大掃除の補助金を充て、災害用として支給してはどうか）二個確保の指導をすることを願う。

障害者の方の優先避難所指定

災害発生時に防災関係者が情報をスムーズに利用できる体制等を整えた上で、要援護者の情報把握の調査等に着手していきたい。ポリタンク配付は担当課と十分協議・検討したい。